

## 吊り戸棚の扉には ロック機構の付いたものを

吊り戸棚や食器棚などに多く使われる開き扉は、日常の使用では実用的ですが、地震時には開きやすいという欠点があります。なかでも吊り戸棚の場合、揺れによって扉が開くと、収納物が上から飛び出してきて危険です。できれば、閉じた時に自動的にロックされるタイプを選ぶと良いでしょう。

また、揺れが治まったからといって吊り戸棚をすぐに開けると、中で倒れている物が落下してることがあります。十分に注意しながら開けてください。

## 食器棚のガラスには 飛散防止フィルムを

食器棚やサイドボードのガラス面は、家具が倒れなくても中の収納物が、飛び出そうとする衝突力で割れる恐れがあります。こうしたガラスや食器の破片が床に飛び散ると、ケガのもと。しかも、避難路を防いでしまいます。ガラス面は、万が一割れても破片が飛び散らないよう、ガラス飛散防止フィルムをぴったりと貼ると良いでしょう。

## 倒れにくくする原則は 重心を下げること

重い物ほど下に入れる——これは家具を倒れにくくするための大原則です。たとえば、食器棚では陶器やガラスでできた大きくて重いもの、本棚では百科事典や全集などの重い本を下段に入ると、家具全体の重心が下がるので倒れにくくなります。重い物が高い位置から落ちてくる時の危険性も考慮すると、やはり下に入れた方が良いでしょう。

## ゴムのシートを敷いて 食器類の滑り止めに

食器棚などの棚板にゴムシートを敷くと、器類が滑りにくくなります。ただし、ビニール系のシートを敷くと、逆に滑りやすくなるので、お間違えのないように。

## 余震に備えて、下段の 引き出しは出しておく

大きな揺れの後にゆとりがあれば、余震に備えて、たんすなどの一番下の引き出しを手前に出しておくとう良いでしょう。倒れようとする家具を支える役目を果たします。

## ストーブの片付けは 必ず電池を外してから

春を迎えて、押し入れなどにストーブをしまう時、つい忘れがちなのが乾電池を外すことです。電池が入ったままだと、地震の揺れによって点火してしまい、火事を起こす可能性があります。特に押し入れは、燃えやすいものが収納されているので、ご注意ください。

## 大切な美術品は パテなどで固定を

高価な調度品や美術品のためには、転倒防止剤としてパテなどが市販されています。なかには美術館などで使われているものもあります。



平成11年7月 第5版発行  
監修 建設省、自治省消防庁、住宅・都市整備公団  
制作・発行 家具の転倒防止対策に関する検討委員会  
事務局：株都市整備プランニング FAX.03-5323-2029  
〒163-1304 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー4F  
印刷 千代田美術印刷株式会社

このパンフレットは、「家具の転倒防止対策に関する検討委員会」による研究を基に制作されたものです。無断での転載は禁止します。なお、転載を希望される場合は、事務局までご連絡ください。  
©株都市整備プランニング

この冊子は、財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて作成されたものです。

家具の転倒防止対策に関する検討委員会では、専門家向けの資料「家具転倒防止等の手引き」も作成しました。お問い合わせは事務局まで。

